

平成31年度 国内産麦利用拡大推進事業の概要

一般社団法人全国米麦改良協会

番号	活動の名称	事業実施主体	代表者	所在地	交付予定額
活動の目的及び概要					
1	《製粉協会・協同組合全国製粉協議会合同企画》 国産小麦で、ニッポンを元気に！	製粉協会	会長 山田貴夫	東京都中央区日本橋兜町15番6号	15,000千円
		協同組合全国製粉協議会	会長 阿部晃造	東京都千代田区神田松永町16	15,000千円
<p>■目的 <地域の国内産小麦の認知・普及拡大>と<地域の国内産小麦を利用した食文化の活性化>を目的に、「国産小麦で、ニッポンを元気に！」をテーマに掲げ、「食」や「郷土食」に関心の高いターゲットが集まるイベントに出展し、全国各地の国内産小麦の紹介並びに小麦食の試食・販売を行い、各地域の国内産小麦と小麦食をPRする。</p> <p>■概要 ①「国産小麦で、ニッポンを元気に！ 国産小麦・全国情報交換会」の開催 各地域で国内産小麦のプロジェクトに取り組む組織・団体が首都東京に集い、地域の国内産小麦や小麦食について地域の小麦活動を情報交換する。 ②「食」や「郷土食」に関心の高いターゲットが集まるイベント(ふるさと祭り東京2020 東京ドーム《候補》)への出展 PRブースで、全国各地の国内産小麦の紹介並びに地域の小麦食の試食・販売を行い、各地域の国内産小麦と小麦食をPRする。</p>					
2	「国内産大麦夕食パン」(大麦ディナーブレッド)提案・普及活動	全国精麦工業協同組合連合会	会長 土持寿翁	東京都江東区佐賀1-9-13	10,000千円
	<p>■目的 現代日本人の食餌に最も不足している食物繊維を補充する為、夕食時に、手軽で、美味しく、しかも食物繊維の豊富な「国内産大麦夕食パン」(大麦ディナーブレッド)を食することを提案し(パンよりご飯が好き人には大麦ご飯を推奨)、粒食とは異なる消費形態(ディナーブレッド)の提案・普及を図ることにより、粒食消費に加え健康志向や肥満が気になる消費者層を中心に、国内産大麦・はだか麦の利用拡大を目指す。</p> <p>■概要 上記の目的を達成するため、①「大麦夕食パン」(大麦ディナーブレッド)の手軽さ、美味しさ、健康効果等を分かり易く紹介したパンフレットを作成し、街のパン屋さんや将来の栄養士さんを養成する大学、短大、専門学校等に紹介する、②夕食時に食べるのに適した数種類の大麦パンを開発する(大学等の栄養学教室と街のパン屋さんに依頼)、③街のパン屋さん向けの機関誌「ベーカリーパートナー」(隔月2万部発行)に「大麦夕食パン」(大麦ディナーブレッド)の提案を連載して浸透させる、④「オレンジページ」「momo」等の女性誌・情報誌に「大麦夕食パン」(大麦ディナーブレッド)の提案を掲載し女性層に普及を図る。</p>				
3	いつでもどこでもいつもの麦茶	全国麦茶工業協同組合	理事長 松尾久敏	東京都千代田区神田須田町1-12-9	10,000千円
	<p>■目的及び概要 麦茶は、多くの飲料がある中で、日本固有の飲み物として、子供からお年寄りまで幅広く多くの人に愛飲されており、底堅い需要があります。麦茶の需要は、近年6万トン規模で推移してきましたが、麦茶の「良さや、効果、効用」についてイベントを通じアピールしてきました。その結果、平成30年度の年間販売量は、9万トン(組合創設以来最高)とより着実に消費は定着してきています。 このため、今年度は、国内産麦での主力商品である家庭向けの商品のPRに力を入れ、麦茶の安全安心と絡めて、麦茶の需要の最盛期に向けて、「夏の水分補給は麦茶が一番」をキャッチフレーズに、「麦茶の日」前後にマスメディアと連携したイベント等、一大キャンペーンを実施し麦茶の需要に更なる弾みをつけるとともに、秋・冬期の需要の底上げを図るため、「いつでもどこでもいつもの麦茶、ホットも美味しいよ」キャンペーンや主婦向け料理雑誌への広告を実施することとしています。また、食・飲習慣は、子供のころの食習慣が重要であることを踏まえ、保育園向け情報誌「すくすく通信」や麦茶サンプルの配布などを行い、麦茶の良さを発信し先々の麦茶ファンの醸成に努めます。又、全国米麦改良協会が開設する「アンテナショップ」へも全国各地の特徴ある麦茶製品を提供して麦茶の普及を行い、消費の拡大を図ることとします。</p>				